

記 入 日 2012 年 1 月 17 日

1. 概 要

実践団体名	愛知県立半田商業高等学校		
連絡先	0569-21-0251		
プランタイトル	レスキューハイスクール。育み隊！		
プランの対象者※1	2・3・4・5・8・9・10	対象とする 災害種別※2	1・2

※1 別紙「記入上の留意点」の1. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※2 別紙「記入上の留意点」の2. 項目から1つ選択し、記入してください。

【プランの目的・ここがポイント！】

- 1 防災教育を通じて、本校生徒の人間的成长を図る。
- 2 市内の小中学校で「出前授業」を実践し、小中学性の防災意識を啓発し、地域貢献を果たす。
- 3 「防災商品」の企画・製作により、商業高校の視点から防災教育を普及・発展させる。
- 4 地域住民・行政・企業と協力し、復興支援活動を行う。
- 5 マスコミを媒体として、全国の小中高校生の防災意識を啓発する。

【プランの概要】

防災教育活動として、本校は大きく3つの活動を行った。

- ・防災商品開発・・・地元企業協力のもと、防災グッズとして本校オリジナル商品「ごんぼんだ」の企画・製作を行う。今年度中の商品化を目指す。
- ・出前授業・・・“デジタル防災紙芝居”を用い、近隣の小中学校を訪問し、本校生徒が授業を行う。今年度の改良点として、「防災こどもノート」や被災地からの転校生の“生の声”も授業に取り入れる。
- ・復興支援活動・・・“ハートツリー”の売上金を全額被災地に送る“半商ハートツリー・プロジェクト”。ハートツリーは地元企業・澤田農園のオリジナル商品で、本校へ無料提供された。

【期待される効果・ここがおすすめ！】

「商業」と「防災」を掛け合わせることで防災教育の可能性を上げた。

地元住民・企業・小中学校に向けて情報を発信し、協力して活動を行うことで防災意識の啓発、地域の活性化につながった。

2. プランの年間活動記録 (2011 年度)

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
4月	年間授業計画立案	『商品企画』プレゼン準備	科目「課題研究」にて講座開設
5月		『ハートツリー・プロジェクト』企画検討・準備	第1回新商品企画会議
6月		『出前授業』内容検討	澤田農園見学 第2回新商品企画会議 第1回広告作成講座 半田市役所職員との打ち合わせ
7月		『出前授業』教材作成	第2回広告作成講座
8月	各行政機関・メディア・澤田農園・株式会社一笑との調整	『ハートツリー・プロジェクト』各イベントに向けての準備・在庫管理および発注作業、Webサイト管理作業、各メディアからの取材対応など	半田市役所訪問 金山夏まつりにて販売実習 協和区盆踊りにて販売実習 半田市総合防災訓練参加・販売実習 FM愛知に出演・宣伝活動 赤レンガ建物公開イベントにて販売実習 老人保健施設”瑞穂”にて販売実習 常滑市役所訪問 知多市役所訪問 パワードーム半田にて販売実習 あいち知多農業協同組合訪問
9月	ハートツリー販売数調整	『出前授業』教材作成	(緑丘商業高校協力) 販売実習 第1回出前授業 (半田小学校)
10月		石巻市訪問・エンディングセレモニーに向けての準備	(常滑高校協力) 常滑焼で鉢製作 知多産業まつりにて販売実習 学校祭にてエンディングセレモニー 第2回出前授業 (宮池小学校)
11月		『商品企画』改善策検討 『出前授業』改善策検討	宮城県石巻市訪問 第3回新商品企画会議 第3回出前授業 (岩滑小学校) 第4回新商品企画会議
12月		校内成果報告会準備	第4回出前授業 (本校2年生対象) 全校集会にて被災地訪問報告会
1月		校内成果報告会準備 新商品開発最終調整	校内成果報告会

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム番号： 1】※3

タイトル	防災商品開発
実施月日（曜日）	
実施場所	本校
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校3年生10名 所属・役職等：3年経理科課題研究講座選択者
所要時間または 「コマ数×単位時間」	12回×50分間
プログラムの カテゴリ、形式※4	17 防災商品開発
活動目的※5	防災用品を生徒自らが企画・開発することで、防災意識を高める。
達成目標	今年度中の商品化（来年度以降販売予定）
実践方法・進め方 （箇条書き またはフロー）	地元企業AOIベーカリーと共同開発する保存食・缶入りパン。 生徒が企画書作成→企画会議にてプレゼンテーション→第1回試食会→企画再検討→第2回試食会→・・・第4回試食会 同時並行で原価計算・販売価格決定・パッケージ案製作・広告作成などを行った。
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・パソコン ・コピー用紙
参加人数	約12名
経費の総額・内訳概要	約3万円（企画書・パッケージ案・広告作成）
成果と課題	【成果】 オリジナル防災用品の商品化に成功。 【課題】 販売計画の立案と実施。
成果物	本校オリジナル防災商品「ごんぱんだ」（缶入りパン）

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 2 】※3

タイトル	出前授業の実践
実施月日（曜日）	9月9日（金）・10月7日（金）・11月11日（金）
実施場所	半田市立半田小学校・半田市立宮池小学校・半田市立岩滑小学校
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校3年生17名 所属・役職等：3年F組デュアルシステムコース
所要時間または「コマ数×単位時間」	3回×50分
プログラムのカテゴリ、形式※4	11 出前授業
活動目的※5	8 防災意識を高める
達成目標	半田市内の小学生の防災意識を高める
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	1 『デジタル防災紙芝居』制作過程紹介 2 『デジタル防災紙芝居』上映（地震編・台風編） 3 防災グッズ紹介 4 『防災こどもノート』 5 防災〇×クイズ
準備、使用したもの・人材 ・道具、材料等	・『デジタル防災紙芝居』DVD ・パソコン ・プロジェクタ ・防災グッズ ・資料
参加人数	合計約350名（半田市内の小学校3校）
経費の総額・内訳概要	約1万円
成果と課題	【成果】 半田市内の小学生の防災意識を高めることができた。 【課題】 市内小中学生への継続した防災教育普及活動。
成果物	防災〇×クイズ・『防災こどもノート』等の教材 小学生からの礼状・感想文等

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 3 】※3

タイトル	半商ハートツリー・プロジェクト
実施月日（曜日）	6月2日（木）～12月7日（水）
実施場所	愛知県内各所・宮城県石巻市
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校3年生10名 所属・役職等：3年経理科課題研究講座選択者
所要時間または「コマ数×単位時間」	約半年
プログラムのカテゴリ、形式※4	1 イベント・行事 5 教科学習 16 避難・防災訓練
活動目的※5	8 防災意識を高める 10 復興支援活動
達成目標	石巻市立女子商業高等学校へ義援金を送る
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	4月～7月 企画検討、広告・ポスター製作・Webサイト立上げ 8月～10月 ハートツリー販売活動 10月 本校文化祭にてプロジェクトエンディングセレモニー 11月 石巻市女子商業高等学校へ義援金を送る 12月 プロジェクト最終報告会
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	・ハートツリー1,160鉢 ・広告 ・ポスター ・Webサイト ・販促品（ネームプレート）
参加人数	不明
経費の総額・内訳概要	約10万円 （ポスター・広告・販促品印刷）
成果と課題	【成果】 多くの企業・行政機関・地元メディア・地元住民からの協力を得て、350万円を超える義援金を集めることができたことは非常に大きな成果である。 【課題】 新たな企画を考え、今後も継続した復興支援活動を行っていく。
成果物	義援金 3,513,204円

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

4. 苦勞した点・工夫した点

<p>プランの立案と調整で苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業A O I ベーカーリーとの日程調整 ■出前授業 <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校への趣旨説明と日程調整に十分な時間が必要であり、苦慮した点でもある。 ■復興支援活動 <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業澤田農園との日程調整
<p>準備活動で苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の自由で奇抜な発想・意見はときに会議の主題から脱線し、時間のロスにつながる（もちろん良い面もあるが）。与えられた短い期間で開発するために、実現可能な企画・意見かどうかを常に意識させ、建設的な話し合いができるよう、会議中の意見のとりまとめ方や、方向付けを指導した。 ■出前授業 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性を引き出し、生徒が積極的に実践内容を検討できるような雰囲気づくりに時間をかけた。また、毎回終了後に生徒と次回以降の改善策について検討する機会を設定したことで、回を増すごとに充実した「出前授業」とすることができた。 ■復興支援活動 <ul style="list-style-type: none"> ・各行政機関、企業へ出向き、プレゼンをするための資料作成 ・ネームプレート・リーフレット（約 1200 枚）作成 ・広告（約 2000 枚）印刷 ・植物の在庫管理は想像以上に苦勞した。
<p>実践に当たって苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・缶詰の製造について、半田農業高校にノウハウをお聞きした。 ■出前授業 <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業を実施する学校によって施設・設備が異なり、発表のための機材等の調整に苦慮した。また、教える対象学年が異なり、学校によって雰囲気が違うため難しい場面もあったが、本校生徒は臨機応変に発表でき、各回とも受講した生徒・教員から高い評価を得ることができた。 ■復興支援活動 <ul style="list-style-type: none"> ・F A X注文分についてはデータ入力・発注作業が必要であったため、教員の負担となった。 ・半田市商工会議所と協力して、配達を行った。 ・W e b サイトを作成して活動の記事や販売数を随時更新し、生徒のモチベーション維持に努めた。 <p>(http://www.handa-ch.aichi-c.ed.jp/hearttreeweb/foryou.html)</p>

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	半田農業高等学校 市内小中学校3校 同窓会理事会・同窓会総会 県立常滑高等学校 県立緑丘商業高等学校 石巻市立女子商業高等学校	『商品開発』 『出前授業』 『半商ハートツリー・プロジェクト』 // // //
保護者・ PTAの組織	本校保護者 PTA役員会・委員会・総会	『半商ハートツリー・プロジェクト』 //
地域組織		
国・地方公共団体・ 公共施設	半田市役所 半田市観光協会 半田市協和区 常滑市役所 知多市役所 老人保健施設 瑞穂	『半商ハートツリー・プロジェクト』 // // // // //
企業・ 産業関連の組合等	澤田農園（常滑市） 株式会社ブランディング あいち知多農業協同組合 FM愛知 CAC AOIペーカリー（半田市）	『半商ハートツリー・プロジェクト』 // // // // 『商品開発』
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	NPO法人「レスキュースタッ クヤード」	『出前授業』
職業、職能団体・ 学術組織、学会等		

6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p>成果として 得たこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発 オリジナル防災商品「ごんぱんだ（飯）」は、しっとりとした食感の缶入りパン。ドライフルーツ入りとさつまいも入りの2種類を開発。商品名とキャラクターは“カンパン”と“半田”と半田市名物“ごんぎつね”に因んでつけられた。 ・出前授業 昨年度から地元の小中学校 10 校を回り、“デジタル防災紙芝居”を活用した防災に関する出前授業を実施。今年度は『防災こどもノート』等のオリジナル教材を製作し、児童・生徒との交流を重点においた授業を展開した。小中学生の防災に関する意識を高めた。 ・復興支援活動 様々な行事・イベントで販売実習を行い、約3カ月間で1,160 鉢もの“ハートツリー”を販売。募金を合わせ、義援金総額は 3,513,204 円となった。11月4日に代表生徒が宮城県石巻市を訪問。転校生の母校である石巻市立女子商業高等学校へ義援金とハートツリーを届けた。この活動は新聞・ラジオ・テレビと多くのメディアで取り上げられ、全国から大きな反響を得た。
<p>全体の反省・ 感想・課題</p>	<p>「商業高校だからこそできる防災教育は何か」を考え、活動を行ってきた。結果、商品開発や商品販売など商業高校ならではの活動を通して、生徒の防災の意識を高め、同時に校外に向けての働きかけを行うことができた。</p>
<p>今後の 継続予定</p>	<p>本校オリジナル防災商品の販売活動を通じて、地域の防災意識と防災力向上に取り組む。石巻市立女子商業高等学校との連携を図り、復興支援を続けるとともに、防災教育に役立つ情報交換を積極的に行っていく。出前授業も発展・継続させ、新たな防災教材の製作やWebサイトでの情報発信などを行い、防災教育の推進役となる。</p> <p>今後も「商業」と「防災」を掛け合わせて、「半商生だから、できること。」を合言葉に、様々な活動に取り組んでいきたい。</p>



7. 自由記述欄 ※6

※6 自由記述欄は、防災教育の実践で得られた知見、防災教育の普及に関わる提案等を盛り込んでください。また、前頁までの記述に不足した事項、参考資料、写真等を自由にご記入ください。なお、3ページ以内厳守をお願いします。

商品開発

第2回試食会(11月10日)



第3回試食会(11月24日)



キャラクター案



(自由記述: 1/3)



パッケージ案

半田商業高校オリジナル商品
「ほんしょうのてつこ」(保存食)

半田生が地元企業アオイペーカリーと共同開発。

- 直射日光や高温多湿の所での保存はさけてください。
- 缶を開けると、缶口や缶底で手を切らないようご注意ください。
- 開封後はお早めにお召し上がりください。
- 脱酸素剤は食べられません。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合がございましたら、お買い上げの日時をご記入の上、製造者までお送りください。

送料負担の上、お取り替えさせていただきます。

栄養成分表	
1缶(100g)当たり	
エネルギー	410kcal
たんぱく質	分
脂 質	分
炭水化物	分
ナトリウム	分
カルシウム	分

原材料 小麦粉、砂糖、はちみつ、植物性ショートニング、ドライフルーツ、食塩、イースト

企 画 愛知県立半田商業高等学校
〒475-0912
愛知県半田市白山町2丁目30番地

製造者 アオイペーカリー
〒475-0922
愛知県半田市昭和町2丁目43-1

ドライフルーツ・はちみつ入り

バーコード

半田商業高校オリジナル商品
「ごんぱんだ」(保存食)

地元企業であるAOIペーカリーと共同開発、今1度「保存食パン」の常識を覆す、しっとりふわふわおいしいパンです!

- 直射日光や高温多湿の所での保存はさけてください。
- 缶を開けると、缶口や缶底で手を切らないようご注意ください。
- 開封後はお早めにお召し上がりください。
- 脱酸素剤は食べられません。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合がございましたら、お買い上げの日時をご記入の上、製造者までお送りください。

送料負担の上、お取り替えさせていただきます。

缶を開けると大きな音がする可能性があります。
パンは右の図のように2層入っています。薄紙の部分を持ち、ゆっくりと取り出してください。

原材料	小麦粉、砂糖、はちみつ、植物性ショートニング、ドライフルーツ、食塩、イースト
内容量	100g
賞味期限	缶詰に記載
企 画	愛知県立半田商業高等学校 〒475-0912 愛知県半田市白山町2丁目30番地
製造者	アオイペーカリー 〒475-0922 愛知県半田市昭和町2丁目43-1

ドライフルーツ入り

バーコード

AOI Bakery × 半高

防災教育チャレンジプラン

出前授業

宮池小学校にて(10月7日)



(自由記述: 2/3)

防災こどもノート(今年度より導入)

小学校 年 組
名まえ

ぼうさい
防災こどもノート
わたしの避難場所は - - -

連絡先リスト

氏名	
電話番号	
電話番号	
電話番号	
学校	

避難するときの持ち物チェック!


   




制作：茨城県立石巻商業高等学校

○×クイズのスライド(一部抜粋)

第6問 

災害用伝言ダイヤルの番号は、**119番**である。

 ○? ×?

正解

正解は... ×

災害用伝言ダイヤルは**171番**です。
○×クイズで使ったプリントの裏側に説明が印刷されていますので、よく読んでおいてください(^ ^)

復興支援活動

10月25日ハートツリー・プロジェクトエンディングセレモニーにて
感謝状贈呈(澤田農園・澤田耕太郎様)



石巻市立女子商業高等学校校長室にて義援金贈呈式(11月4日)

石巻市役所にて教育長と(11月4日)



(自由記述: 3/3)